

# 2013年1月1日～2021年12月31日の間に 当科において門脈ガス血症の治療を受けられた方及びご家族の方へ

## 「門脈ガス血症症例の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合外科学	特任教授	浦上 淳
研究分担者	川崎医科大学総合外科学	臨床助教	松下 和輝
	川崎医科大学総合外科学	准教授	高岡 宗徳
	川崎医科大学総合外科学	講師	石田 尚正
	川崎医科大学総合外科学	講師	松原 正樹

### 1. 研究の概要

門脈ガス血症は腸管壊死などの病態で認められる重篤かつ予後不良の徴候とされ、緊急手術の適応の1つの指標とされています。当院で経験した門脈ガス血症症例について、臨床所見と画像所見を後方視的に検討します。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2013年1月1日～2021年12月31日の間に当院において門脈ガス血症の治療を受けられた方28名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年9月30日

#### 3) 研究方法

2013年1月1日～2021年12月31日まで当院で経験した門脈ガス血症症例を検討します。腸管切除手術の有無、予後、ショック症状の有無、画像所見、腹部所見、WBC、CRP などについてはカルテから情報収集を行います。

#### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、腸管切除手術の有無、予後、ショック症状の有無、画像所見  
腹部所見、WBC、CRP

## 6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等をご覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 外科

氏名：浦上 淳

電話：086-225-2111 内線 48036（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-224-6821

E-mail：aurakami@med.kawasaki-m.ac.jp

## 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。